

日本周産期・新生児医学会
専門医制度

専門医
資格更新認定試験要領

2023年3月

一般社団法人
日本周産期・新生児医学会

目次

＜インターネット試験に関する注意＞	5
インターネット試験期間	5
＜申請書類記載上の注意＞	5
1. 周産期専門医資格更新認定申請書	5
2. 診療実績報告書	5
3. 研修単位となる業績一覧	5
＜研修単位となる業績＞ 周産期専門医資格更新認定試験実施規定より抜粋	6
【書類の送付先・問合せ先】	7
1. 取得単位集計表の記入例	8
2. 学術集会参加記録簿の記入例	9
＜参考＞	10
1. 会員登録の変更_マイページからの変更手順①	10
2. 会員登録の変更_マイページからの変更手順②	11

専門医資格更新認定試験 告示

一般社団法人日本周産期・新生児医学会 『専門医制度規定』中の「専門医資格更新認定試験実施規定」に示す専門医資格更新認定試験を、下記のように実施する。

2023年3月15日

一般社団法人日本周産期・新生児医学会
理事長 田中 守
専門医制度委員会 委員長 高橋 尚人
副委員長 関沢 明彦

2023年度専門医資格更新認定試験 —実施要領—

I. 申請資格

1. 医師免許証(医籍)を有する。
 2. 基本学会である日本小児科学会、日本産科婦人科学会のいずれかの専門医である。
 3. 専門医資格更新を申請する時点で、継続して日本周産期・新生児医学会会員であり、会費を完納している。
 4. 通算5年間、周産期医療に従事し、専門医資格更新認定試験申請書を提出している。
 5. 5年間の取得単位の合計が50単位以上。うち、必須項目の合計が30単位以上ある。
- ※単位の詳細は【単位の解説】(p4)を参照する。

II. 申請書類 (申請書は片面印刷すること)

下記に示す書類をそろえて、III. の申請期間内に日本周産期・新生児医学会事務局宛に追跡できる方法で送付する。

1. 専門医資格更新認定申請書
2. 診療実績報告書
3. 研修単位となる業績一覧
4. 医師免許証(医籍)のコピー
5. 日本小児科学会・日本産科婦人科学会いずれかの専門医認定証のコピー(現在有効)

※本会の専門医認定証のコピーは不要

III. インターネット試験・申請書類提出期間(当日消印有効)

2023年8月1日(火)～2023年9月25日(月)

※インターネット試験及び申請書類提出期間の延長は行わないので厳守のこと。

IV. 申請における注意事項

1. 提出された申請書類に不備や不足等があった場合、受理しないことがある。資格更新認定試験要領を熟読し、申請前に再確認すること。また、訂正、再提出を求めることもあるが、指定期限内に到着しない時は更新資格を失う。
2. 申請書類の受理通知は10営業日以内にメールで送信する。受理通知が届かない場合は必ず事務局に問合せ。問合せがない場合は更新資格を失うこともある。

V. 認定試験

1. インターネットで試験を行う(30問)。
※インターネット試験の詳細について、7月28日(金)[予定]に対象者にメールで連絡する。
2. 医師国家試験方式のMCQ形式に準じた形式とする。
3. 内容は最新の知識を問う問題、学会のシンポジウムや話題になったトピックス、最新のガイドラ

イン、この5年間における新しい問題点など、専門医として知っておくべき内容とする。

4. 全問正解をもって合格とする。

VI. 申請料

不要とする。

VII. 合否決定

専門医試験委員会は試験の適否を、専門医認定委員会は試験結果の評価と受験者に関する諸資料を総合して合否の決定を行う。

VIII. 合格発表

11月中旬に学会ホームページの「専門医関連」に会員番号で発表予定。

IX. 資格更新の登録

1. 合格者は、登録料20,000円を添えて学会に登録を申請する。

2. 学会は上記登録の申請があった者に対して専門医として登録するとともに、専門医認定証を交付する。

登録料は郵便振替で下記口座へ納入する。

振込の際は、会員番号と氏名を振込み名義の頭に必ず記載すること。

郵便局 振替口座番号 00100-6-704183

口座名称 一般社団法人日本周産期・新生児医学会専門医制度委員会

(イツパンシヤダンホウジン ニホンシユウサンキ シンセイジイガクカイ)

他の金融機関からの振込

ゆうちょ銀行 口座番号 〇一九(ゼロイチキユウ)店 当座 0704183

ネットバンキングの場合の口座名称

シヤ) ニホンシユウサンキ シンセイジイガクカイ (全てカタカナ全角)

(誤) シヤ→(正) シヤ

X. 延長申請

資格更新認定の延長を希望する者は、学会ホームページから「専門医資格更新認定延長申請書」をダウンロードし、8月31日(木)[当日消印有効]までに事務局宛てに追跡できる方法で送付する。

XI. その他

告示の補足や更新試験関連情報が学会ホームページの「専門医関連」に掲載されることがあるため、最新情報は学会ホームページで確認すること。

インターネット試験をはじめ、更新に関する各種連絡はメールで行うため、学会からのメールを受信できるよう設定し、メールアドレスを変更した場合、必ず事務局に届け出ること。

【書類の送付先・問合せ先】

※問合わせる前に資格更新認定試験要領を熟読し、メールで問合わせること。原則として電話での問合せには応じない。

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30 日本周産期・新生児医学会 事務局

E-mail: senmoni@jspm.org

更新試験の詳細は、『専門医制度規定』の「専門医資格更新認定試験実施規定」を参照すること。

【単位の解説】(研修単位となる業績について)

※第38回周産期学シンポジウム(2020年2月開催)の参加証明は、参加証と出席証明書のいずれの提出も必要。なお、送付された参加証は返却しない。

5年間に以下の項目の合計が50単位以上うち、必須項目*の合計が30単位以上ある。

- 1) 学術論文の発表 10 単位
周産期・新生児学関連の学術論文を、専門医認定委員会が認める査読制度のある学術雑誌に筆頭著者または corresponding author として発表。
- 2) 参加 10 単位＋筆頭演者として発表 10 単位
 - ① 本学会の学術集会*
 - ② 周産期学シンポジウム*
- 3) 学術論文の発表 5 単位
 - ① 周産期・新生児学関連の学術論文を、専門医認定委員会が認める査読制度のある学術雑誌に共著者として発表。
 - ② 上記①以外の周産期・新生児学関連の学術論文を、筆頭著者として発表(専門医認定委員会の審査が必要)。
- 4) 参加 5 単位＋筆頭演者として発表 5 単位
 - ① 日本小児科学会
 - ② 日本産科婦人科学会
 - ③ 日本小児外科学会
 - ④ 日本麻酔科学会
 - ⑤ 日本新生児成育医学会
 - ⑥ 日本新生児成育医学会教育セミナー
 - ⑦ 日本母体胎児医学会
 - ⑧ 日本糖尿病・妊娠学会
 - ⑨ 日本小児外科学会秋季シンポジウム
 - ⑩ 国際学会(周産期・新生児学に関連する演題について、筆頭演者として発表した場合)
- 5) 参加 2 単位＋筆頭演者として発表 2 単位
本学会が認める周産期・新生児学関連の学会または研究会
※学会ホームページ専門医制度(共通)の「研修単位となる学会、研究会一覧」を参照
- 6) 新生児蘇生法講習会のインストラクター5 単位(補助は含まず)
- 7) その他、上記以外の学会または研究会については、専門医認定委員会に申請のうえ審査する。

＜インターネット試験に関する注意＞

インターネット試験期間

2023年8月1日(火)～2023年9月25日(月)

※上記期間中にインターネット試験及び申請書の提出を行う。

1. インターネット試験の全問正解, アンケートへの回答, 試験合格後に表示される「解説」の確認をすべて行うと修了と判定され, メニュー画面の学習進捗の部分が 100%と表記される。必ず「解説」を確認すること。
2. 9月25日を過ぎると試験を受験できなくなるため, 早めに受験をすませること。

＜申請書類記載上の注意＞

1. 周産期専門医資格更新認定申請書

- 1) ヘッダーに申請者名を必ず記入する。
- 2) 年月日はすべて西暦表記とする。
- 3) 今回の更新前に施設の異動があった場合は, すべての施設を「専門医期間中の職歴」欄に記入する。
- 4) 各種連絡に使用するので, 必ず使用できる E-mail を記載する。gmail 以外のアドレスが望ましい。申請書送付後に施設を異動した際は, 会員ログイン後のマイページあるいは会員登録の変更中の「変更オンライン登録」から勤務先・E-mail 等を登録する(p10・11 参照)。

2. 診療実績報告書

施設の異動に関わらず, 5年間の症例の有無を記入する。

3. 研修単位となる業績一覧

1) 取得単位集計表

単位として申請できる期間は前回の更新年の8月1日～今回の更新年の7月31日までのものとする。ただし, 初めて更新する場合は受験年の6月15日以降の参加・発表について申請できる。

※第38回周産期学シンポジウム(2020年2月開催)の参加証明は参加証と出席証明書のいずれも提出が必要。

- (1) 取得単位となる発表及び論文は, 周産期・新生児学に関連したものに限る。
- (2) 研修単位となる学会または研究会への参加・発表は, 必須単位に該当する学会は「1. 本学会が10単位と定めた学会の参加・発表」欄へ, 必須単位でない学会または研究会は「2. 本学会が承認した学会または研究会の参加・発表」欄へ記入する。なお, 学会または研究会での発表は筆頭演者に限る。
- (3) 学術論文を単位とする場合は, 「3. 学術論文」欄へ単位数を記入し, 「学術論文刊行記録」と論文の別刷(コピー可)を提出する。なお, 学術論文はすべて周産期・新生児学に関連した論文に限る。学術論文には, 以下の3種類がある。①, ②については各自査読の有無を確認し, 「査読の確認」欄に記名する。
 - ① 査読制度のある学術雑誌に査読を受けて筆頭著者または corresponding author として発表した場合は10単位。
 - ② 査読制度のある学術雑誌に査読を受けて共著者として発表した場合は5単位。

③ ①, ②以外の学術論文を筆頭著者として発表した場合は 5 単位となり, 専門医認定委員会の承認が必要となる.

(4) 項目ごとに単位数を記入する. 必須単位 30 単位以上で総合計 50 単位以上となるように記入する.

(5) 研修単位となる学会または研究会は, 本学会ホームページの「専門医制度(共通)」中の「研修単位となる学会, 研究会一覧」を参照. <http://www.jsnmm.com/Senmoni/Tani.aspx>

2) 学術集会参加記録簿

(1) 参加した学会または研究会の出席証明書を貼付する.

出席証明書はオリジナルの提出を原則とするが, 名前の記入がある参加証はコピー可とする.

(2) 参加証を紛失した場合は, 開催年月日, 学会または研究会の名称, 単位を記載し, 上席者の署名を得る.

(3) 参加証の発行がない学会または研究会については, プログラムまたは抄録がある場合はそれを添付する.

(4) 発表の場合は抄録のコピーを添付する.

以下の 3), 4) は, 単位として申請する場合だけ提出する.

3) 学術論文刊行記録

(1) 著者名, 論題, 誌名, 発行年, 頁の順に記入する.

(2) 論文の別刷(コピー可)を添付する.

(3) 掲載予定の論文は受理票及び論文のコピーを添付する.

4) 新生児蘇生法講習会インストラクター記録簿

(1) インストラクターをした場合には単位となるが, 補助の場合は単位とならない.

(2) インストラクター認定番号及びコースの種類等必要事項を明記する.

〈研修単位となる業績〉専門医資格更新認定試験実施規定より抜粋

第11条 専門医資格更新認定の受験に必要な研修単位については以下のとおりとする.

5年間に以下の項目の合計が50単位以上かつ必須項目*の合計が30単位以上であること.

1. 学術論文の発表10単位

周産期・新生児学に関連した学術論文を, 専門医認定委員会が認める査読制度のある学術雑誌に筆頭著者またはcorresponding author として発表.

2. 参加10単位+筆頭演者として発表10単位(参加10単位, 筆頭演者としての発表があれば10単位を追加)

日本周産期・新生児医学会*

周産期学シンポジウム*

3. 学術論文の発表5単位

(1) 周産期・新生児学に関連した学術論文を, 専門医認定委員会が認める査読制度のある学術雑誌に共著者として発表.

(2) (1)以外の学術論文を筆頭著者として発表した場合は, 専門医認定委員会が審査する.

4. 参加5単位

新生児蘇生法講習会のインストラクター(補助は含まず)

5. 参加5単位+筆頭演者として発表5単位

(1) 日本小児科学会

- (2) 日本産科婦人科学会
 - (3) 日本小児外科学会
 - (4) 日本麻酔科学会
 - (5) 日本新生児成育医学会
 - (6) 日本新生児成育医学会教育セミナー
 - (7) 日本母体胎児医学会
 - (8) 日本糖尿病・妊娠学会
 - (9) 日本小児外科学会秋季シンポジウム
6. 参加2単位＋筆頭演者として発表2単位
本学会が認める周産期・新生児学関連の学会または研究会
7. 国際学会(周産期・新生児学に関連するもの)
参加5単位＋筆頭演者として発表5単位
8. その他の学会については専門医認定委員会に申請後同委員会が審査する.
9. 研修単位の対象となる学術論文雑誌の例
- 日本周産期・新生児医学会雑誌
 - 日本小児科学会雑誌
 - 日本産科婦人科学会雑誌
 - 日本小児外科学会雑誌
 - 日本新生児成育医学会雑誌
 - Pediatrics International
 - Journal of Pediatrics
 - Pediatrics
 - Pediatric Research
 - Neonatology(Biology of the Neonate)
 - Journal of Obstetrics and Gynaecology Research
 - Early Human Development
 - American Journal of Obstetrics and Gynecology
 - Obstetrics and Gynecology
 - British Journal of Obstetrics and Gynaecology
 - Ultrasound in Obstetrics and Gynecology
 - Pediatric Surgery International
 - Journal of Pediatric Surgery

【書類の送付先・問合せ先】

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-30 日本周産期・新生児医学会 事務局

E-mail: senmoni@jspm.org

※問合せる前に資格更新認定試験要領を熟読し、質問はメールで問合せること。原則として電話での問合せには応じない。

<記入例>

1. 取得単位集計表の記入例

【必須単位】				
[1. 本学会が 10 単位と定めた学会の参加・発表]				
(1) 日本周産期・新生児医学会学術集会	10 単位	参加	2 回	40 単位
	10 単位	発表	2 回	
(2) 周産期学シンポジウム	10 単位	参加	1 回	10 単位
	10 単位	発表	回	
(A)	(1) ~ (2) の合計 (合計で 30 単位以上 が必須です)			50 単位
【その他の単位】				
[2. 本学会が承認した学会または研究会の参加・発表]				
(3) 日本小児科学会, 日本産科婦人科学会, 日本小児外科学会, 日本小児外科学会 秋季シンポジウム, 日本麻酔科学会, 日本新生児成育医学会, 日本新生児成育医学会教育セミナー, 日本母体胎児医学会, 日本糖尿病・妊娠学会, 国際学会	5 単位	参加	2 回	10 単位
	5 単位	発表	回	
(4) 基本学会の地方会 研修単位となる学会または研究会	2 単位	参加	1 回	4 単位
	2 単位	発表	1 回	
[3. 学術論文]				
(5) 筆頭著者または corresponding author として発表 (要査読)	10 単位	筆頭演者として発表した場合のみ 1 編		10 単位
(6) 共著者として発表 (要査読)	5 単位	(5), (6)は査読制度がある論文		
(7) 筆頭著者として発表	5 単位	査読がない論文で専門医認定委員会の承認が必要		
[4. 新生児蘇生法講習会]				
(8) インストラクター(補助は除く)	5 単位	2 回		10 単位
(B)	(3) ~ (8) の合計			34 単位
(A) + (B)	インストラクターとして参加した場合のみ 総合計 (50 単位以上 必要です)			84 単位

【記載上の注意】

- 取得単位となる発表及び論文は、周産期・新生児学に関連するものに限る。
- 必須単位に該当する学会の参加・発表は、【必須単位】「1. 本学会が 10 単位と定めた学会の参加・発表」欄へ記入する。必須単位でない学会または研究会での参加・発表は【その他の単位】の 2~4 に記入する。
- 学会または研究会での発表は筆頭演者に限る。
- 申請できる期間は前回の更新年の 8 月 1 日から今回の更新年の 7 月 31 日までのものとする。ただし初めて更新する場合は、受験年の 6 月 15 日以降の参加・発表について申請できる。

2. 学術集会参加記録簿の記入例

参加日(西暦)	学術集会出席証明書貼付	必須単位	その他の単位
2017. 7. 15	第〇〇回 日本周産期・新生児医学会学術集会 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 第〇〇回 日本周産期・新生児医学会 学術集会 10 単位 </div>	参加 10 発表 10	
2018. 7. 20	第××回 日本周産期・新生児医学会学術集会 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 第××回 日本周産期・新生児医学会 学術集会 所属 〇〇〇病院 氏名 周産期 花子 </div>		
2019. 7. 19	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 第〇×回 日本周産期・新生児医学会学術集会 </div>	参加 10 発表 10	
2017. 1. 22	第〇〇回 周産期シンポジウム <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 第〇〇回 周産期シンポジウム 10 単位 </div>	参加 10	
2018. 8. 10	第〇〇回 日本小児科学会 学術集会 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 第〇〇回 日本小児科学会 学術集会 </div>		参加 5
2019. 8. 6	第〇×回 日本小児科学会 学術集会 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 第〇×回 日本小児科学会 学術集会 </div>		参加 5
2020. 5. 9	日本小児科学会 地方会 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 第〇〇回 日本小児科学会 地方会 参加証明書 </div>		参加 2 発表 2
2018. 4. 2	第〇〇回 日本産科婦人科学会 学術集会 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 日本 一郎 </div>	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 参加証紛失の場合は 上席者の署名が必要 </div>	参加 5
	小 計	50 単位	19 単位
	合 計		69 単位

【記載上の注意】

- 参加証を紛失し学会での発表がない場合は、開催年月日、学会または研究会の名称、単位を記載し、上席者の署名を得る。発表した場合は、抄録のコピーを添付する。スペースが足りない場合はコピーして使用する。
- 母体・胎児領域の申請者は、e 医学会のマイページの取得単位ページのコピーでも可。

※第 38 回周産期学シンポジウム(2020 年 2 月開催)の参加証明は参加証と出席証明書のいずれも提出が必要。

〈参考〉

1. 会員登録の変更_マイページからの変更手順①



施設の異動やメールアドレスの登録を変更する場合に使用する

- ① 会員番号・パスワード(変更していない場合は生年月日を 8 桁)でログイン
- ② 「登録情報の確認・変更」から変更できる

※会員登録の変更からも可能。

※E-mail は問合せ等に使用するので、必ず使用できる E-mail を登録する

2. 会員登録の変更_マイページからの変更手順②



- こんにちは、周産 太郎 先生
- パスワード変更 | ログアウト
- マイページ
- 第53回学術集会演題検索システム
- 会員専用情報
- 会員登録の変更**
- 専門医制度(ワイド登録)
- 議事録・報告
- 会員へのお知らせ
- 本学会について
- 学術集会・総会
- 周産期学シンポジウム
- 新生児蘇生法普及事業
- 学会誌(電子投稿)・刊行物
- メール配信サービス
- 登録手順はこちら
- CMV感染診断サービス
- 周産期学教育セミナー
会員専用
- 大規模災害対策
情報システム

周産 太郎 先生のマイページ

● 事務局からのお知らせ

2018/01/12 ポップアップブロックの解除について
2017/10/11 評議員選挙に係るマイページ確認事項
2017/04/18 マイページを開封いたしました

最新の状態に更新する

■ 個人情報

会員番号	入会年月日	会員の種類	専門領域	生年月日
7854321	2017/04/01	会員	産婦人科	1999/09/09

機関誌送付先 勤務先

勤務先 勤務先

※生年月日未登録の場合は「1900/01/01」と表示しています。「登録情報の確認・変更」から生年月日を登録してください

登録情報の確認・変更 退会

■ メールアドレス

メールアドレス	メール配信
① abc@def.com	希望する
②	希望する

メール配信サービスの確認・変更

■ 専門医関連

研修開始認定日	研修番号	現況	専門医認定開始日	専門医登録番号
2015/04/01	N01234	研修終了	2016/04/01	0135

【最新指導医履歴】

開始日	終了日	代表	暫定	施設名
2017/04/01		○	○	○○病院

指導医変更 [指導医に関する必要書類]
施設年次報告書 [施設認定に必要な書類中の3(毎年4月1日～5月31日の間に登録すること)]
【新生児】 http://www.jspnm.com/Senmoni/DL_S.aspx
【母体・胎児】 http://www.jspnm.com/Senmoni/DL_B.aspx

新生児専攻医、母体・胎児専攻医のオンライン申請後、修正・変更などある場合は事務局までご連絡ください
Tel:03-5228-2074 Fax:03-5228-2104

※変更届、研修年次報告書等の登録画面に切り替わらない場合は次画面に切り替わらない場合の対処方法を確認
※専門医の登録を修正・変更した場合は、個人情報に記載されている勤務先やメールアドレスも変更してください

最新の状態に更新する

新生児専攻医

↓施設と指導医の変更はこちらから

<申請記録> 開始届 変更届 休止・中止届 再開届

申請日	申請書類	施設名	研修開始日	研修終了日
2010/08/12	開始届		2010/04/01	

<研修年次報告書提出記録> 追加登録

施設または指導医が変更になった場合は変更届の登録を先におこなってください

研修番号	年度	研修期間	施設名
	2013	2013/04/01～2014/03/31	
	2012	2012/04/01～2013/03/31	
	2011	2011/04/01～2012/03/31	
	2010	2010/04/01～2011/03/31	

研修期間判定ツール

ここからも変更できる

勤務先等の変更を行うことができる

メール配信を希望するで、学会からの情報が配信される

メール配信の登録はここから変更できる

専門医の登録番号はここで確認できる